

# まちがいがし

のげ青のフロア紹介をかねたまちがいがし！君は6個のちがいを発見できるかな!? 答えはフェイスブックページにてアップします！

今月のフロア



ホール  
卓球やバドミントン、ダンスなどの軽運動に利用できる開放的な空間です。



来年度も実施していきたいと思えます。

畑プログラムでは、シヨウガ・ジャガイモ・ラディッシュといった野菜やハーブの収穫のほか、古くなった土をブルーシートに乗せて消毒再生する作業を行いました。

## 畑日記

令和二年十一月



もり なな  
森奈々さん  
ユースワーカー

### Q1 一言お願いします。

2020年4月からのげ青で働くことになった森です！映画やゲームや漫画などいろんなものが好きです。みなさんと仲良くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします！

### Q2 好きな事はなんですか？

絵やイラストを描くことです。美大では油絵学科で油彩画を描いていました。

### Q3 好きな言葉を教えてください。

ずいてまいし  
うが  
水滴石を穿つ

### Q4 前世は何だと思えますか？

よくヨーロッパの町を冒険する夢を見るので前世はヨーロッパの人間だったと思います。

世田谷区立  
野毛青少年交流センター

〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-15-19  
☎ 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739  
✉ information@nogesei.com @nogesei\_youth  
www.nogesei.com (www.facebook.com/nogesei0510)

のげ青の活動はホームページ・フェイスブックページにて公開中です！ぜひご覧ください！

NOGESEI 検索

## インターン生からひとこと。

初めてのげ青に来た時、皆さんの優しさと和やかな雰囲気は驚かされました。ここでは一人ひとりが大切な仲間です。本を読むもよし、ゲームするもよし、卓球やバドミントンに打ち込むもよし、ただ座っているだけでもよし。私もいつもわくわくしています。

よしだ まりあ  
吉田 真理愛さん

## ジャスト・ワン

参加人数  
3~7人

みんなが出したヒントから答えを導き出すという協力型のクイズゲームです。お題カードの中から選ばれた言葉を回答者以外のプレイヤーが、各々ヒントを出していきます。回答者はそのヒントからみごと正解の言葉を当てられたら成功です。1ゲーム、13枚の山札が無くなるまで何問正解できるかがポイントとなります。



ヒントが誰かと被った場合は、そのヒントが無効になるという特徴があります。また、外国語や方言にしたものでも被ったと同様に見なされます。無効になってしまったものが多くなった場合、少ないヒントで正解にたどり着かなくてはなりません。被らないようにと裏をかけたつもりが被ってしまったなど、ハプニングが楽しいゲームです。

### 面書き

## のげパンダからあしらせ



のげ青では「第2回キャラクター募集」が行われています。「第5回のげ青フェスティバル」で投票結果が発表される予定です。今年の「のげ青フェス」は、こんなときだからこそ楽しめる企画を、若者と一緒に考え中です。ワークショップやメイク・ネイル教室が予定されています。情報は随時更新しますので、公式HPやSNSをチェックしてくださいね。

のげ青の日常を  
地域へ伝える



## のげ青プログラム紹介 /

つきいちかいき

# 月一会議

若者たちの『こんなことやってみたい!』  
の声を集めるプログラム・月一会議に  
ついてご紹介します!

月一会議とは、毎月1回、主に第3土曜日に若者の「やりたい」を実現することを目的に、のげ青でやってみたいことを、小学生から20代まで幅広い世代の若者が参加し、皆で話し合う会です。

最初は興味があっても、「友人が参加しないから…」「同年代の人がいない」と断ったり、近くに座っているだけだったり、やってみたい事があっても発言しない若者もいました。しかし、普段の若者との会話の中で彼らの「やってみたい」の声に耳を傾けて、「だったら月一会議で提案してみようよ」と声掛けをしたところ、少しずつ参加が増えていき、最近では毎回10人ぐらいが集まるようになりました。

一度参加をすると次からは、友達を連れてきてくれる若者も増えてきました。

月一会議で決まったプログラムの中

から、いくつか紹介をします。

「ゲーム大会」では、最近よく利用されている中学生が率先して皆をまとめてくれています。

また、「のげ青散歩」は最初スタッフの方から出た案でしたが、実施していくうちに若者から「もう1回やりたい」の声が上がるようになり、度々実施されるようになりました。

若者の提案したものが形になり、どのようなやり方で進めていくかを、若者自身が考えて行動できるようにも支えています。皆さんも月一会議に参加をして、のげ青で自分のやりたいことを提案してみませんか?

## 参加者の声 /

ふも月一会議参加した110  
何にもいいかな、おかげで楽しかった  
おもしろい名前がつけられた  
1311にたのしみ発見  
楽しかった

また、参加したい  
おもしろい  
おもしろい  
おもしろい

## プログラムインフォ

日時/毎月第3土曜日の午後\* 約1時間  
場所/本館フリースペース  
対象/小学生~大学生世代

\*日時は変更する場合があります。詳しくはユースワーカーに聞いてください。

## 月一会議のすすめ方

### STEP 1 自己紹介しよう!

最初は、初めて参加してくれる若者や、会議で初めて顔を合わせた若者同士もいるので、スタッフも含めて皆で自己紹介をします。

### STEP 2 アイデアを出そう!

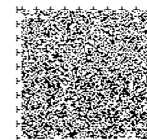
皆がやりたいことを付箋に書いてもらいます。それをホワイトボードに貼ってどんな風にやりたいか説明します。

### STEP 3 みんなで話し合おう!

皆で何のプログラムをやるか話し合います。自分がやりたいプログラムの人々と集まりさらに深掘りします。

### STEP 4 企画を決めよう!

若者とスタッフでプログラムの内容を考えて、話し合いながらポスターを作ります。







## 大道芸人という仕事

「ふらっとカレッジ」は、様々な分野で活動する大人や、面白い活動を継続している人と対談したり、講演を聞いたり、一緒に活動を行ったりするプログラムです。

今回は、昨年2月にクリエイターワークのイベントで指導をしていただいた、「こまのたけちゃん」こと武田勉さんに講師をお願いしました。武田さんにはこまとディアボロのパフォーマンスを披露していただいたり、若者にこま・ディアボロの難しい技を教えてもらったりしました。その後の講義では、武田さんがこの道に進もうとしたきっかけなどを話していただきました。大道芸人になろうと思ったのは、日本独楽博物館の館長・藤田由仁さんの実技を見て、自分のやりたいことは「これだ!」と思い至り、弟子入りをしたとのことでした。独立するにあたって、師匠の藤田さんから「自分を応援してくれる人を大切にしな

さい」という教えを受け、「これは」と思う企業の株主となり、総会に出席しては名刺を渡すなどの活動をしたとのことでした。そういった努力が実り、応援してくれる企業が徐々に増え、主催事業や内部のイベントにも呼んでくれるようになり、今も「好きなこと」を仕事として続けているということでした。

今回のふらっとカレッジは、「仕事をする」ことが身近な高校生、大学生にはもちろん、小中学生にとっても「こんな道もあるんだ」と将来を考える貴重な機会となったようでした。

参加者の声

コマを初めて回しました。最初は上手くいかず、失敗ばかりでした。しかし、武ちゃんがコツを教えてくださいましたことにより、回すことができるようになり、とても楽しかったです。  
—ふうか（大学生）



## 落語家という職業 ～伝統芸能の担い手として生きていく～

「ふらっとカレッジ」第二弾は、プロの落語家さんである、金原亭馬太郎さんに講師をお願いしました。まずは「ためぎ」という落語を一席語っていただきました。ある男に助けられた子だめぎが、恩返しにやってきます。男のリクエストに応じてお札や鯉に化けたりするのですが、ちゃんと化けるためのやり取りであったり、化けてからのドタバタが楽しいお話です。見ていた若者たちは、囃の面白さに笑うと共に、扇子がキセルに、手拭いがお札になって見えるその所作に関心をしていました。

馬太郎さんは、大学生で就職活動の合間にも、寄席や落語会に通っていて、いくつか普通の企業も受けたとのことですが、結局落語家さんになろうと決心し、師匠となる金原亭馬生さんに入門しました。馬太郎さんは、現在二つ目ですが、その前に前座という修行を約5年やった

ということでした。最高位の真打になるまで、普通15年ぐらいかかるということです。そんな厳しい世界なので、落語家になるのはお勧めしないということでしたが、夢は「落語家になること」だったので、叶っているともおっしゃっていました。夢を叶えた後も、継続してやっていくのは大変だけれど大切なことだ、ということをお話いただきました。

参加者の声

普段聞くことのない、生の落語を聞くとテレビで見たり聞いたりするより迫力があり見ごたえがあった。普段聞くことが出来ない裏の話が聞けて面白かった。これがきっかけで落語とのけ青に興味を持ち始めました。—俊太郎（小学生）

落語を生で聞いてみて、軽妙な口調で聞き手を次第に話の世界へと引き込んでいく落語家さんの凄さを感じるとともに、身近にも題材が溢れている落語の面白さに触れることができました。—たいち（大学生）



きんげんてい うまたろう  
金原亭馬太郎  
落語家

ゲスト講師



## 節分イベント

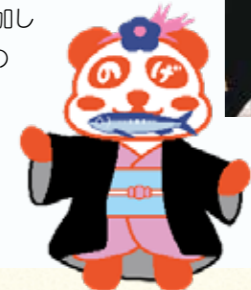
のげ青では節分館内ラリーを行いました。いろいろな修行をして鬼退治をするのが今回のイベント内容です。刀を振ったり、ラケットからピンポン玉を落とさないように運んだり、踊ったり、柔軟したり、謎解きをしたり、様々な修行を行います。修行が終わると必殺技が習得できます。最後は必殺技を使用して鬼と対決しました。

館内ラリーに登場する鬼や修行に出てくるキャラクターは、若者から募集しました。若者は一生懸命キャラクターを考えて応募してくれていました。中には、若者

同士が必殺技名とイラストの役割を分担し、協力して考えたキャラクターもありました。採用された時はとても喜んでいました。

また、イベント中に館内で流していたBGMは、近隣の学校に通う女子高生たちが演奏した曲を使用しました。節分にぴったりの曲を演奏してくれたので、イベントがより盛り上がりました。

当日はたくさんの若者が参加してくれました。鬼を倒した後の若者の顔が、何かをやり遂げたようなすっきりした表情だったのが印象的でした。



## YOUTH REPORT

12.23 wed

### 2020年★クリスマスパーティー

12月23日、のげ青にサンタがやって来て、ソーシャルディスタンスを保ったかたちでクリスマスパーティーを開催しました。コロナ禍の為、皆で料理が出来ないので、各自でクリスマスケーキをデコレーション。各々のケーキの写真に撮って館内に掲示し、来館者による投票でNo1.ケーキを選出。優勝は高校生英寿君が作ったケーキでした♪メインイベントのピング大会は陽気なサンタ&トナカイコンビの司会で大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。2021年のクリスマスにはコロナが落ち着き、皆で会食も楽しめるクリスマスパーティーが開催できる事を祈ります☆



12.27 sun

### 年末大掃除

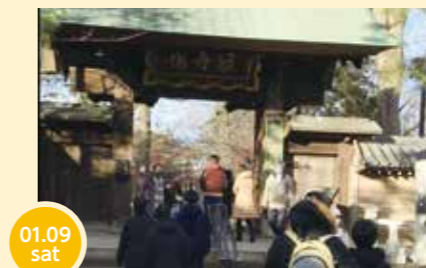
高圧洗浄機を使って窓の外側の泥と、自転車置き場前を洗いました。参加者は冬空の中、窓の濡れているところを寒さも気にせず丁寧に雑巾でふき取っていきましました。小中学生たちも、自分たちが使っている下駄箱を掃除。「きれいになっていくと気持ちがいい」と施設に1年間の感謝を込めた掃除ができました。



01.09 sat

### 月一プログラム「散歩」

1月9日に「初詣」へ出掛けました。今年は「開運招福」を祈願しに、世田谷区九品仏の浄真寺に向かいました!! 天候にも恵まれ、総勢8名で出発。参加者全員が浄真寺は初参拝。想像以上に大きな寺院で驚きました。お参り後、各々が御籤を引く、真剣な眼差しでお御籤を読んでいる姿が印象的でした。みんなの1年が幸多き年であります様に♡



## 「ピックアップ」 Nogestagram



のげ青のホールでは卓球やバドミントン以外にもジャグリングなどのスポーツもできます! みなさんぜひ遊びに来て下さい。ジャグリングが初めての人も大歓迎!!